



楽しみ
だなー!

生まれ変わる

みんな
考えよう!



市民会館

長く市民の皆さんに愛されてきた市民会館が、生まれ変わろうとしています。今回は、市民会館が建て替えられることになった経緯から、新しい市民会館ができるまでをお伝えします。

詳細 新しい市民会館については都心まちづくり課 ☎211-2692
市民ホール(代替施設)については生涯学習推進課 ☎211-3871

お金が掛かるよね

周辺の再開発に併せて建て替え

市民会館を建て替えるには巨額の費用が掛かりますが、財政難の市が単独で負担するのは困難です。そこで、創世1.1.1区(下記参照)の再開発の中で、新しい市民会館の実現を目指すこととしました。

再開発事業の中で行うことの効果と制約

市と民間が共同で再開発事業を行うことで、相互の費用負担が軽くなるという効果が生まれます。また、さまざまな施設が入った複合施設になれば、市民の皆さんにとって、より便利で魅力的な施設の実現が期待できます。

このような効果がある一方、民間事業者との協議や法律に基づく手続きが必要となり、新しい市民会館の開館まで、最短でも7年～8年かかります。

どうして建て替えるの?

老朽化・耐震性不足が判明

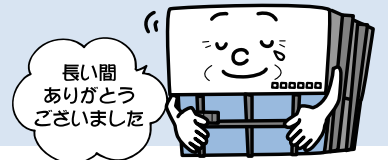
昨年2月に、市民会館の耐震性能を調査した結果、現在の基準に照らし合わせて十分ではないことが判明。市民の安全確保のために、使用を中止することとなりました。しかし、市民会館の利用度は高く、その機能を維持する必要があることから、改修で対応するか、建て替えるかについての検討が始まりました。

改修か、建て替えか

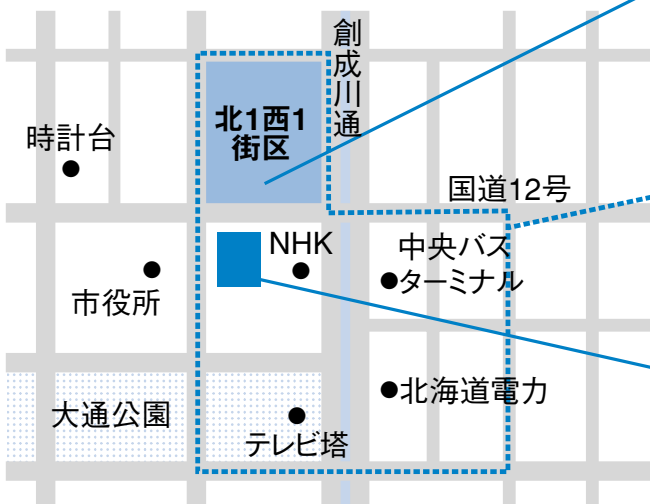
改修した場合、建物全体の改修が必要で、その費用は30億円～40億円にもなる上、工事のために2年間休館することになります。しかも、改修したとしても、長期的な延命が保証されるわけではありません。

そこで、取り壊して建て替えることを決定し、ことし3月末に閉館しました。

ペコリ



地図で見る市民会館の建て替え



新しい市民会館の建設予定地

創世1.1.1区そうせいさんくの再開発事業に併せて建て替えることを計画。民間施設との複合施設の形で、北1西1(現在北1条駐車場がある街区)に、平成27年度に開館することを目指しています。

●創世1.1.1区とは?

大通公園と創成川が交差するエリア(北1西1・大通西1・大通東1街区)を指します。魅力あふれる都市空間の創出を目指し、これまでにない多様な機能を導入するなど、これからの都心のまちづくりを先導する取り組みを進めています。

市民ホール(代替施設)

旧市民会館の跡地に建設。来年10月から利用できる予定です。